

平成28年「8管トピックスTOP10」

8管トピックスTOP10が決まりました！アンケートにご協力いただきありがとうございました。



1位 漂流木造船船内から少なくとも7体分の遺体を確認

平成27年11月22日、「越前岬北北西5.5海里付近で船が沈みかけている」と付近を航行中の船舶から通報を受け、巡視船及び航空機が出動、巡視船えちぜん潜水士による調査の結果、転覆した船内から遺体3体を発見。

その後、船を福井港へえい航し、陸揚げの後再度調査をした結果、頭部だけで、少なくとも7体分の遺体が確認されました。



2位 巡視船おき潜水士 乗揚げ転覆船内から1名救助

平成28年4月13日、鳥取県境港市潮見町の岸壁に沖合底引き網漁船が乗揚げて転覆、乗組員8名のうち1名が船内に取り残されました。

境海上保安部所属巡視船おき潜水士が出動、転覆船内に取り残された乗組員1名を無事に船内から救助しました。



3位 5年ぶり！JCGフェスタ in 舞鶴2016を開催！！

平成28年11月19日、5年ぶりにJCGフェスタ in 舞鶴2016を開催しました！

体験航海一般公募には、過去最高となる2,867名もの応募があり、イベント当日には1,234名の方々に展示訓練等を見学していただきました。



4位 熊本地方を震源とする地震対応

平成28年4月17日、熊本地方を震源とする地震対応のため、第八管区海上保安本部は直ちに巡視船及び航空機を派遣、食料や飲料水等の救援物資の搬送を行い、浜田海上保安部所属巡視船いわみにおいては、熊本港にて「給水」「入浴」「トイレ」「携帯電話充電」等の支援業務を実施しました。



5位 鳥取県中部を震源とする地震対応

平成28年10月21日午後2時7分、鳥取県中部を震源とする最大震度6弱の地震が発生。

第八管区海上保安本部では、対策本部を設置し、巡視船艇・航空機により管内沿岸の被害調査を行うとともに、航行警報及び地震情報を発出し、付近航行船舶等に対し注意喚起を実施しました。



NAVTEX航行警報
Y86162100100 V000HA ナブックス航行警報 番号2199/10
地震発生時、鳥取県中部、鳥取県西部、島根県西部、
10月21日14時07分、震度6弱以上の地震発生、危険な漂着物、
水没変化、船体損傷又は救助要請事項の恐れあり。
船舶注意を要する。

99162100072 V000HA JAPAN NAVTEX N.W. NR 110916
EARTHQUAKE INFORMATION
MORRIS ISLANDS OF JAPAN PREFERENCE
05 24N 138 54E 110072 OCT
MANUWRITE 06
DANGEROUS DRIFTING OBJECTS, CHANGE OF
DEPTH AND DAMAGE OF HARBOR FACILITIES
OR NAVIGATIONAL AIDS MAY OCCUR.
VESSEL IN COAST AREA REQUESTED TO BE
CAUTION ADVISED.

6位 船飯ブーム！ 管内各地にて取材殺到！！

「船飯(ふなめし)」とは、巡視船艇で働く海上保安官の食事のことを言い、主計科に所属する主計士が自らレシピを考え調理をします。

そんな「船飯」が注目され、管内各地において取材を受けたり、テレビにて放映されました。



7位 高浜原子力発電所3、4号機 再稼働に伴う海上警備

平成28年1月29日及び2月25日に、高浜原子力発電所3号機及び4号機が再稼働。

これに伴い、舞鶴海上保安部所属巡視船わかさ、敦賀海上保安部所属巡視船えちぜん、小浜海上保安部所属巡視艇あおかげが海上警備を実施しました。



8位 不審船対処に係る海上自衛隊との共同訓練を実施

平成28年10月18日、京都府・福井県沖の若狭湾において、不審船に対応するための訓練を、海上自衛隊と共同で実施しました。

同訓練は、臨海部の重要施設である原子力発電所に対するテロを想定したもので、情報共有訓練、共同追跡・監視訓練等の演練を実施した。



9位 八管区初の試み！ 「海上保安大学校・学校学生募集CM」を作成

学生募集活動の一環として、鳥取県と島根県出身の採用試験受験者数アップを図るため、境海上保安部・美保航空基地が共同で学生募集CMを企画、地元のケーブルテレビ「株式会社中海テレビ放送」7月～8月の間CM放映されました。

また、同放送局のfacebookページ(7月16日分)にも取り上げられています。



10位 鴨ヶ磯海岸さざえ等 密漁者4名現行犯逮捕

平成28年7月22日、鳥取海上保安署は、鳥取県岩美郡鴨ヶ磯海岸において、さざえ138個(6.5キログラム)あわび20個(0.35キログラム)たこ4匹(0.53キログラム)を違法に採った「漁業法違反」の疑いで、男4名を現行犯逮捕しました。

管内沿岸海域では、漁業者が稚魚を放流するなど、漁業資源の確保のために力を注いでおり、引き続き密漁事犯の取締りを強化していきます。

